

土木遺産

何事も「首都圏中心」の話題が多く、地方の情報は隠れてしまいがちですが埋もれている情報のひとつに、阪急電鉄の「土木遺産」があります。

それは、大阪淀屋橋橋梁にも匹敵するもので、昭和6年に完工し、開業した「西院」～「四条大宮」間の地下路線とその駅ホームです。これは、東京地下鉄「銀座線」に次ぐ2番目の地下路線ですが、「銀座線」と異なり第3軌道によらない、パンダグラフからの集電方式の地下路線の日本最初のものとして「土木遺産」に登録されています。

聞き及んだ余談を2つ。余談 「大宮駅」は発足当初は、新京阪電鉄「京都駅」であり、戦後しばらくも、阪急電鉄「京都駅」であった。(昭和30年代は、阪急京都-四条大宮と呼称していたように記憶しています)

河原町までの地下延伸計画ができたときに、将来を考えて「大宮駅」に変更されたようです。

余談 その「大宮」の西よりの駅である「西院」は、正式にはどのように発音するのか？ 御承知の方も多いと存じますが、「さい」「さあいん」「さいいん」と変化したようで現在は「さいいん」と読むのが圧倒的に多いとのこと。



阪急 大宮駅(土木遺産)

